

管理運営状況等評価票

施設名	秋田県森林学習交流館				
指定管理者	株式会社サンアメニティ				
作成者	工藤 武	作成日	令和 2 年 4 月 30 日		
確認者	農林水産部	森林整備課	調整・担い手班		
職氏名	主査	三浦 佑介	TEL	018-860-1750	

1 施設の概要

設置年	平成 7年	営業期間・時間	通年・24時間			
設置目的	森林・林業に関する学習及び研修機会を提供するとともに、林業従事者等の交流を促進することにより、県民の森林・林業に関する意識の高揚を図り、もって本県林業の振興に資する。					
指定管理業務の内容	(1) 使用の許可、使用の許可の取り消し並びに使用の制限及び停止に関する業務 (2) 施設及び施設の維持に関する業務 (3) 森林及び林業の学習に関する業務					
自主事業の実施状況	1. 森の学校(年間14回)、2. 土用の丑の日フェア、3. 年末大抽選会、4. 大晦日オードブル、5. あったかフェア					
直近3年の年間利用者数	H29	69,542 人	H30	66,227 人	R元	61,998 人
直近3年の年間料金収入	H29	61,663 千円	H30	56,372 千円	R元	54,846 千円
直近5年の収支決算(単位:千円)	H27	H28	H29	H30	R元	
収入計	90,855	85,706	91,275	85,984	84,458	
(内訳)利用料収入	59,335	56,094	61,663	56,372	54,846	
指定管理料	31,520	29,612	29,612	29,612	29,612	
その他収入						
支出計	97,845	90,995	94,186	92,815	90,240	
(内訳)人件費	37,061	37,224	37,461	37,496	37,522	
人件費以外	60,784	53,771	56,725	55,319	52,718	
差引	-6,990	-5,289	-2,911	-6,831	-5,782	

2 観点ごとの評価

(観点Ⅰ) 利用目標の達成状況					
利用目標指標名	施設利用者数	定義	宿泊、レストラン、会議室、展示室、「学習の森」の利用者数		
	H30		R元	R元-H30	R2
目 標	70,000		70,000	0	35,000
実 績	66,227		61,998	▲ 4,229	
達 成 率	94.6%		88.6%		
実績等の増減原因	利用者数	93.6%	「森の学校」の参加人数や展示室の利用者数が著しく減少傾向にある。各団体の利用件数が少なくなっている事が考えられる。また施設全体の利用者数は例年並みで、年度末のキャンセルが無ければ、増加していたと考えた。		
	料金収入	97.3%	上期は会議・研修、宿泊共に利用者が多く、料金収入も好調であったが、下期の利用者減で通年を通して▲150万となった。		
令和2年度利用目標設定の考え方	コロナウイルス感染防止対策により、利用者の減少が著しい。昨年度の上期利用者数を目標値に含めるのは現実的ではないため、前年目標値の半数とした。				指定管理者 評価欄 B

○「利用目標設定の考え方」には、目標設定の参考にした指標(過去の伸び率や前年度数値、類似施設数値等)を具体的に記載すること。

○「評価欄」には、目標値に対する達成率について次の基準により判定した評価を記載すること。

A: 100%以上 B: 80%以上100%未満 C: 80%未満

(観点Ⅱ)利用者満足度の状況				
利用者満足度の状況	H29	H30	R元	R元-H30
	51.2	68.6	72.2	3.6
利用者アンケート調査結果の活用例	アンケート調査のたびにスタッフに周知し、良い事も悪い事も共有して利用客に喜ばれる施設になるよう対応している。またハード面では修繕費を使用し許容範囲内で対応している。			指定管理者 評価欄 B

○「評価欄」には、満足度について次の基準により判定した評価を記載すること。

A:80%以上 B:60%以上80%未満 C:60%未満

評価項目	指定管理者 1次評価欄	所管課 2次評価欄
(観点Ⅲ)管理運営体制の状況	A	A
①有資格者を含む職員配置状況は適切か	10	10
<ul style="list-style-type: none"> ●事業計画書等に照らして適切な職員配置になっている。(5点) ●受付担当者が不在にならないなど利用者に迷惑がかからない配置になっている。(5点) 		
②職員の勤務実績は適切か	10	10
<ul style="list-style-type: none"> ●事業計画書等に照らして適切な勤務実績になっている。(5点) ●各職員が、他の職員の業務状況を把握し手伝えるような工夫をしている。(5点) 		
③職員の処遇等は適切か	10	10
<ul style="list-style-type: none"> ●職員の処遇が労働法規に反していない。(5点) ●職員に対する何らかの福利厚生事業が行われている。(5点) 		
④施設・設備は適切に管理されているか	10	10
<ul style="list-style-type: none"> ●事業計画書等の日常保守管理、定期点検、清掃、警備等の計画に照らして適切に管理されている。(5点) ●施設・設備に目に見える損傷、汚れ等がない。(5点) 		
⑤備品は適切に管理されているか	10	10
<ul style="list-style-type: none"> ●備品台帳に記載されている備品が全て揃っている。(5点) ●備品に目に見える損傷等がない。(5点) 		
⑥個人情報の保護に対する体制の構築が成されているか	10	10
<ul style="list-style-type: none"> ●「個人情報取扱特記事項」が全て遵守されている。(5点) ●職員に対し個人情報保護に関する理解の向上を図っている。(5点) 		
⑦安全で安心できる環境を確保しているか	10	10
<ul style="list-style-type: none"> ●事故防止マニュアル等及び緊急時連絡体制を整備している。(5点) ●職員に対し、研修の実施等の事故防止に関する理解の向上を図っている。(5点) 		
⑧経費節減のための努力を行い、成果を上げているか	10	10
<ul style="list-style-type: none"> ●前年度よりも事務経費を節減する取り組みをしている。(5点) ●実際に経費節減の成果を挙げている。(5点) 		
⑨計画的な修繕等がなされているか	10	10
<ul style="list-style-type: none"> ●施設・設備の修繕に関する年度計画が存在する。(5点) ●利用者が常に安全に利用できる状態に保たれている。(5点) 		
⑩健全な経営がなされているか	10	10
<ul style="list-style-type: none"> ●経理書類が適切に作成され、通帳や印鑑などが適切に管理されている。(5点) ●選定時の各財務指標と比較し、特段の経営の悪化が見られない。(5点) 		

○各評価項目の評価欄には、合致する設問の合計点を記載すること。

○最上段の評価欄には、評価項目ごとの点数の平均値について次の基準により判定した評価を記載すること。ただし、0点の評価項目がある場合は、平均値が8点以上であったときでもB判定とすること。

A:8点以上 B:5点以上8点未満 C:5点未満

評価項目		指定管理者 1次評価欄	所管課 2次評価欄
(観点Ⅳ)サービス向上に向けた取組の実施状況		A	A
①開館日、開館時間等は守られているか		10	10
●仕様書又は事業計画書等に照らして適切な開館状況になっている。(10点)			
②事業計画に掲げられた業務は適正に実施されているか		10	10
●仕様書又は事業計画書等に照らして適正に業務が実施されている。(10点)			
③施設の使用許可、料金減免の手続、説明は適正か		10	10
●料金減免の説明が分かりやすく掲示されている。(5点) ●仕様書又は事業計画書等に照らして適正に使用許可されている。(5点)			
④職員の接客マナーは適切か		10	10
●全職員が名札を着用し適切な服装をしている。(5点) ●施設名と対応者名を名乗った電話対応など丁寧な挨拶や対応がなされている。(5点)			
⑤利用者が利用しやすい窓口案内を実施しているか		10	10
●電話やWebサイト等による利用相談がなされている。(5点) ●来客への対応に関する研修がなされている。(5点)			
⑥全ての利用者が等しく利用情報を得ることができるよう情報発信を行っているか		10	10
●分かりやすいパンフレットの備え付けや、見学希望への対応などに取り組んでいる。(5点) ●指定管理者名称、指定期間、業務概要等を利用者に周知している。(5点)			
⑦潜在的な利用者へ向けた広報を実施しているか		10	10
●広報誌発行、県・市町村広報への登載、Webサイト作成、チラシ配布等の広報を実施している。(10点)			
⑧満足度調査の結果、課題がある場合に対応策を講じているか		10	10
●満足度調査から課題を抽出して対応策を講じている。(5点) ●満足度調査結果及び課題への対応策を公表している。(5点)			
⑨利用者が意見や苦情を述べやすい環境を構築しているか		10	10
●意見・苦情の提出先に関する情報を公表している。(5点) ●意見・苦情の内容を記録し、対応策を実施している。(5点)			
⑩意見・苦情等を受けて迅速に対応できる体制を構築しているか		10	10
●苦情の受付・解決方法や担当者等を明確にし職員に周知している。(5点) ●意見・苦情への対応策の実施・公表をしている。(5点)			
(参考)	サービス改善のための具体的取組	R元実績	各利用団体と年間利用の会場を調整しながら押さえ、利用日が重ならないよう打ち合わせを行った。
		R2計画	来館者への配慮とスタッフ職員の意識改革。
	令和2年度取組計画設定の考え方		来館者への声掛けをしながら目的を把握する、適切な対応を行うことにより利用拡大につなげる。また当事業所内での施設交流などを行い従業員のスキルアップに繋げる。

○各評価項目の評価欄には、合致する設問の合計点を記載すること。

○最上段の評価欄には、評価項目ごとの点数の平均値について次の基準により判定した評価を記載すること。ただし、0点の評価項目がある場合は、平均値が8点以上であったときでもB判定とすること。

A: 8点以上 B: 5点以上8点未満 C: 5点未満

○「取組計画設定の考え方」には、具体的理由(例えば、利用者からどのような要望があったのか等)を記載すること。また、各施設で実施している利用者から意見を聴取するための取組(例えば、投函箱の設置や顧客満足度調査等)については全て記載すること。

3 総合評価

<p>指定管理者 1次評価欄</p>	<p>(講評欄) 指定管理者として、運営を開始し9年目となったが、この間、施設の維持管理のための努力を継続しており、今年度は壁の補修や施設内の整備をして頂いたこともあり、施設の管理も良好に推移している。</p> <p>特に修繕内容は、経年劣化による軽微な雨漏りやひび割れの修繕から空調、ボイラー、浄化槽設備や建屋の修繕をするなど万全に整備をしたところである。</p> <p>また、近年の気象の変動や温暖化に対応した施設のきめ細やかな管理を行い、お客様に喜ばれる対策として、こまめな修理や清掃管理を行うなどリスクアセスメントに取り組んでいる。</p> <p>そのほか、昨年度より増加傾向で推移していた宿泊客の確保状況は、年末年始の宿泊を伴う飲食会が大企業の相次ぐ経費縮減によりキャンセルされるなど利用者の減少が見られ、さらに年度末には新型コロナウイルス感染症問題による影響もあったが、努力を継続し利用者拡大に努めた。</p>
<p>A</p>	
<p>所管課 2次評価欄</p>	<p>(講評欄) 年14回開催している「森の学校」や森林環境教育に関する小中学校の利用については、ニーズに合った取組や、関係団体との連携により工夫した企画に努めている。その結果、「学習の森」の利用者が増加している。</p> <p>その一方で、レストラン部門の利用者が前年度より減少した。会社等の研修開催へのPRにも努めているが、近隣施設でのイベントの開催状況により左右される面もある。(新型コロナウイルス感染症問題の影響もあり)</p> <p>施設管理面では、供用開始から20年以上が経過し、施設・設備の老朽化による不具合が顕在化している。計画的な整備の更新や修繕を行い、サービスの質を落とさぬように努めており、適切な管理運営が行われている。</p>
<p>A</p>	

○総合評価は、「利用目標の達成状況」、「利用者満足度の状況」、「管理運営体制の状況」、「サービス向上に向けた取組の実施状況」の4つの観点の結果を用い次の基準により記載すること。「利用目標の達成状況」、「利用者満足度の状況」については、指定管理者評価を所管課2次評価として判定すること。

- A: 「C」判定がなく、2つ以上の観点で「A」判定の場合
- B: A、C以外の場合
- C: 各観点のいずれかの評価結果が「C」判定の場合